

平成21年度第3回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 平成22年1月15日(金) 10:00～11:35
場 所 事務局第一会議室
出席者 上井学長、丸山理事、加藤理事、川橋理事、堀理事
大橋委員、佐々木委員、土肥委員、中井委員、橋本委員、福田委員
欠席者 古賀委員
陪席者 尾崎監事、栗田監事、渋谷副学長、町田学長特別補佐、高木教養学部長、山口教育学部長、伊藤経済学部長、水谷理工学研究科長、井上理学部長、山口工学部長

前回議事要録の確認

平成21年度第2回国立大学法人埼玉大学経営協議会(平成21年10月15日開催)議事要録(案)」の確認が行われ、了承された。

報告事項

- 1 平成22年度予算の内示について
丸山理事から、本学の運営費交付金内示額の内訳等について報告があった。
- 2 地域産学官共同研究拠点整備事業における採択結果について
川橋理事から、今年度の補正予算において、本学が地域産学官共同研究拠点整備事業の基盤形成支援地域に採択された旨の報告があった。
- 3 埼玉大学創立60周年記念事業について
渋谷副学長から、昨年から実施してきた埼玉大学創立60周年記念事業の概要について報告があった。

審議事項

- 1 目的積立金の使用予定について
丸山理事から、文部科学大臣に対して繰越承認申請中の平成20事業年度決算剰余金について、同申請が承認された場合には、平成21年度目的積立金とし、平成20年度末目的積立金残額と合わせて学生宿舎改修工事に充当したい旨の説明があり、審議の結果、了承された。
- 2 第2期中期目標原案・中期計画案について
加藤理事から、本学の中期目標原案、中期計画案、素案に対する修正意見に関する対応状況及び更なる検討を求めた意見に関する対応状況等について説明があり、審議の結果、了承された。

主な意見は次のとおり

内容が抽象的である。アクションプランとか具体的展開策とか年度の詳細計画とかがあるのか。

まず、埼玉大学の現状を分析することがスタートではないか。それからどういう方向へ向かえばよいのかが具体的に出てくるのではないか。

PRの効果で、埼玉大学の認知度が大変高くなっているが、近隣の人しか知らないのではないか。それ以外の地域の県民に対するPRも必要だと思う。

運営面で、待ちの姿勢から攻めの姿勢へという変化が必要ではないか。それを実現させるためには、社会との関係性をどう強化していくかが課題であろう。

総合大学を目指すのであれば、どういう方向性で考えているかという問題提起をしなければいけない。

教育は、多くは学生へのものだが、今は国民へも多く求められている。研究は、方向性を明確にしていかなければいけない。

上記外部委員からの意見に対して、理事から、学内のアクションプランはすでに準備を進めていること、長期ビジョンについて戦略的な検討をしていくことなどが説明された。

その他

- 1 学長から、大橋委員、佐々木委員、土肥委員、橋本委員、福田委員は、経営協議会委員の任期が3月末で満了となるため、再任の可否について個別に相談させていただきたい旨の発言があった。
- 2 次回日程(3月29日(月)午前)

以上